

名大の時間

看護学科今昔

(現名寄市立総合病院)付属看護婦講習所に始まりました。

その後昭和45年に上川北部医師会附属看護学院が設置されました。平成6年に市立名寄短期大学に看護学科が設置され、それに伴い名寄市立総合病院付属看護婦養成所は廃止となりました。

上川北部医師会附属看護学院は平成31年3月末を持って閉院し、現在名寄に

おける看護職員養成は本学1校のみとなりました。名大での看護教育は、平成6年に市立名寄短期大学看護学科を設置した時から開始して

いますが、名寄の医療を支える看護職の養成はその遙か昔から続いていたこと、その先輩方に実習指導を受けることで名大の看護学生が育ってきたことに感謝しています。

昭和35年の名寄女子短期大学設置に向けての趣意書には「道北の女子に高等教育を。当該地に必要な専門職を当該地で養成したい。この地域に必要な栄養士、家庭科教員、生活改良普及員、保健婦が欲しい」と記載されていたそうです。

名寄女子短期大学開学から多くの年月を経て平成18年に名寄市立大学となった際には、看護学科で保健師の養成も開始



員が埋まる現状は、卒業生の活躍を通じて本学の看護教育が認められている証と感じています。

しました。名寄市だけでなく道内自治体を中心に多くの卒業生を送り出しています。当時の趣意書を執筆された関係者の方々に50年以上を経たその願いが叶ったことをお伝えしたいと思います。

令和8年度の看護学科入学生は、短大看護学科から通算すると33年目の入学生であり、看護学生総数は約1600人を越えました。全国的に看護系大学が増加し、入学生の確保に苦慮する大学がある中で、毎年多くの受験生が集まり入学定

数が増え、短大の歴史と期待を裏切ることのないよう、看護学科教員一同、精一杯後輩の育成に励むとともに、次の世代に看護教育のバトンを繋いでいきたいと考えています。

看護学科学科長
播本雅津子

名寄での看護職員
の養成は、昭和14年
に名寄町立社会病院